

第39期 中間事業報告書

2023年3月1日 ▶ 2023年8月31日

Medical Ikkou Group Co., Ltd.

Business Report

Pharmacy

Nursing

Medicine

Real Estate

Investment

株主の皆様へ



代表取締役社長 **南野 利久**
(グループCEO)

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。ここに第39期第2四半期連結累計期間の営業概況等についてご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済活動の正常化や企業の旺盛な設備投資意欲を背景に景気は緩やかな改善がみられる状況にありました。しかしながら、個人消費は物価高が重石となり、サービスを主体にその回復ペースは鈍化している模様です。

このような状況のもと、当社グループは足元の事業を取り巻く大きな環境変化に迅速かつ臨機応変に対応するとともに、患者様、利用者様の安全確保にも引き続き注力し、事業活動の継続に努めてまいりました。当社の連結子会社であります株式会社メディカルー光と西部沢井薬品株式会社およびその子会社であります株式会社沖縄アメルの医薬品・医薬部外品等の卸売事業を2023年9月1日付で統合することに最終合意いたしました。この事業統合により、医薬品卸事業は売上高100億円を上回る水準となり、「調剤薬局事業」「ヘルスケア事業」と規模の面で劣らない3極体制を確立し、また、グループ全体の拠点網は東海地区・西日本エリアを主体に1道2府20県の地域に拡大することになります。今後は当社グループの事業特性や事業基盤を最大限に発揮していくことで、足元の経営課題に着実に取り組んでまいります。

このように、当第2四半期連結累計期間は、今後の当社グループの事業基盤のさらなる強化に向け各種対応に取り組んでまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高17,450百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益603百万円(同29.5%増)、経常利益696百万円(同16.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は444百万円(同18.7%増)となりました。

当社グループは、「良質の医療・介護サービスをより多くの人に提供する」という理念のもと、環境変化を的確に捉えた事業戦略を展開し、企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月

業績推移

(単位：百万円)

	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2023年2月期 (第2四半期)	2024年2月期 (第2四半期)
売上高	31,603	33,595	33,897	16,978	17,450
経常利益	1,201	1,357	1,227	598	696
親会社株主に帰属する 当期純利益	834	852	759	374	444

ビジネスフォーカス

Pharmacy



調剤薬局事業

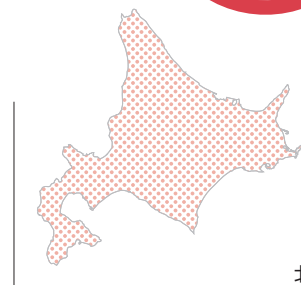
三重県をはじめとする中部地方、関西地方を中心に調剤薬局を展開しており、当第2四半期末における店舗総数は、1道2府9県で94店舗となっております。店舗運営におきましては、1店舗当たりの売上増の強化を図るべく患者様が来店しやすい店舗体制の整備に注力していきながら、地域連携薬局の拡大にも努めてまいりました。薬局へのご来店が困難な患者様のニーズに対しても、子会社を主体に取り組みを拡大し、患者様一人ひとりの満足度を高め、地域の皆様に選ばれる薬局づくりを行っております。

当第2四半期連結累計期間は、既存店舗の処方箋応需枚数が前年同期比増加しました。薬剤料単価は薬価改定の影響もあり前年同期比低下しましたが、調剤薬局事業全体の売上高は、前年同期比増収となりました。

この結果、売上高11,861百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益779百万円(同5.9%増)となりました。

売上高 **118億61百万円**
(68.0%)

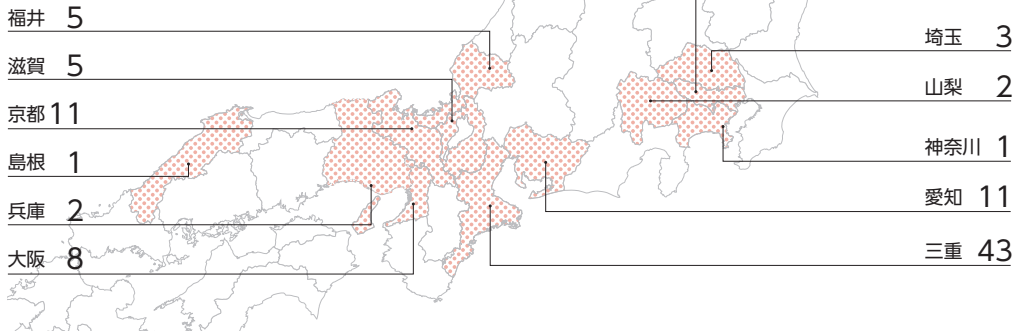
調剤薬局事業
Pharmacy



北海道 2

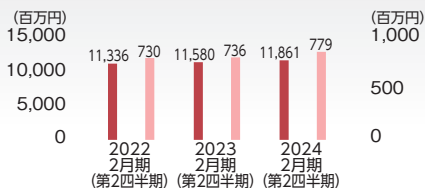
店舗展開マップ

※2023年8月末現在



売上高／営業利益

■売上高 ■営業利益



店舗数推移

	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期 (第2四半期)
出店数	2店舗	3店舗	0店舗
退店数	2店舗	1店舗	1店舗
期末店舗数	93店舗	95店舗	94店舗

ビジネスフォーカス

Nursing



ヘルスケア事業

三重県をはじめ2府7県において、居住系介護施設の他、通所介護事業所等を展開しております。超高齢社会の進展で介護分野の需要が益々高まる中、多様な介護サービスを提供しております。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、施設における行動制限を一部緩和しておりますが基本的な感染対策は当面継続し、利用者様が安心して施設を利用できる体制を維持するとともに、介護人材の安定的な確保を優先し、介護サービスの質の向上に取り組んでまいりました。こうしたなか、居住系介護サービスおよび在宅系介護サービスとともに、需要は緩やかながらも回復基調にあります。施設運営に不可欠な光熱費の高止まりや物価高への対応等、引き続き課題は残るものの、今後も快適に過ごせる介護サービスの実現により入居率と稼働率の向上に努めております。

この結果、売上高3,899百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益110百万円(同219.3%増)となりました。

事業展開マップ

※2023年8月末現在の居住系介護施設数

京都

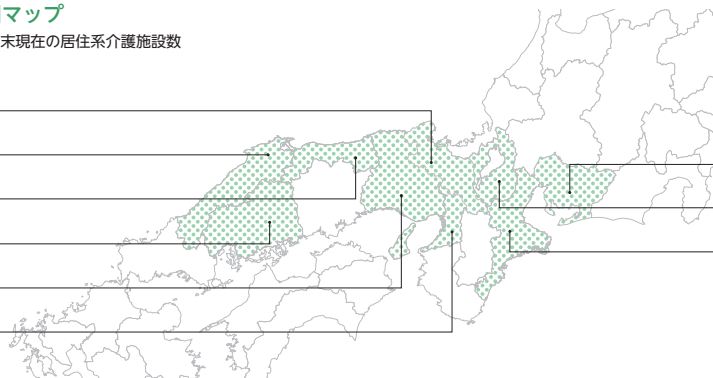
島根 5施設

鳥取 5施設

広島 1施設

兵庫 1施設

大阪 1施設

2024年2月期
(第2四半期)

有料老人ホーム	34施設
サービス付き高齢者向け住宅	1施設
グループホーム	7施設
ショートステイ	1施設
小規模多機能ホーム	10施設
通所介護事業所	22事業所
居宅介護支援事業所	18事業所
訪問介護事業所	9事業所
訪問看護事業所	3事業所
福祉用具販売・レンタル	5拠点

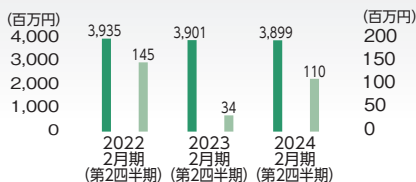
愛知 14施設

滋賀 4施設

三重 11施設

売上高／営業利益

■売上高 ■営業利益



居住系介護施設数および定員・入居者数推移(各期末時点)

	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期 (第2四半期)
施設数	42施設	42施設	42施設
定員	1,417人	1,417人	1,417人
入居者数	1,230人	1,234人	1,238人

ビジネスフォーカス

Medicine



医薬品卸事業

2023年4月以降、原価率の急激な上昇に直面し、収益環境は一変しております。従前の営業活動の延長では、これまでと同水準の利益率を確保することが困難な状況にあります。こうしたなか、当第2四半期連結累計期間において豊橋営業所や滋賀営業所を愛知営業所、三重営業所にそれぞれ集約し、営業活動の強化と効率化を図ってまいりました。

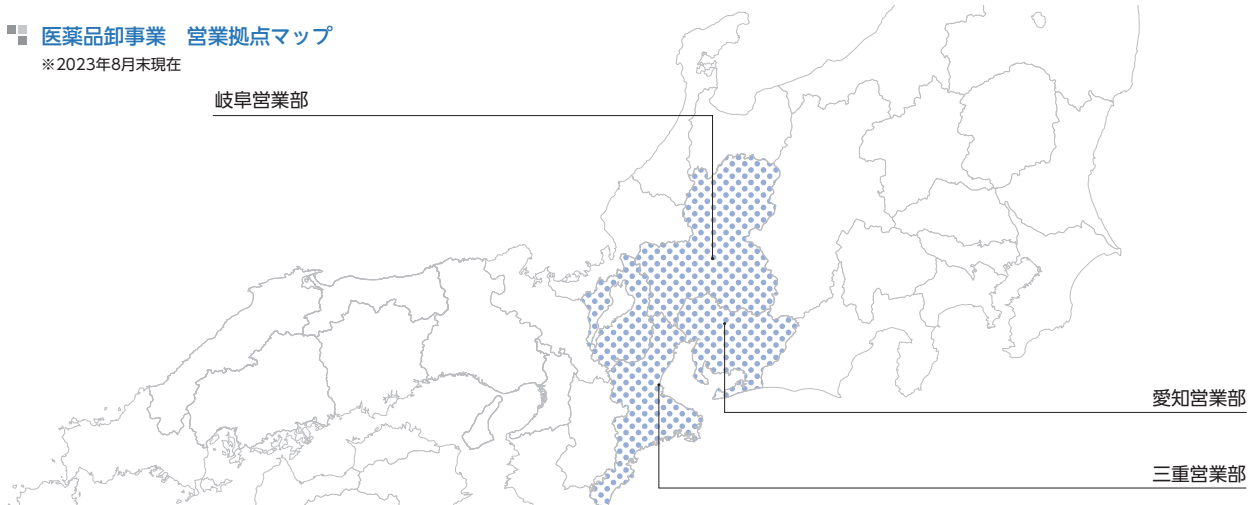
この結果、売上高1,598百万円(前年同期比14.0%増)、営業利益33百万円(同72.6%増)となりました。(内部売上を含む売上高は2,068百万円となり、前年同期比で9.0%増加しました。)

医薬品卸事業
Medicine

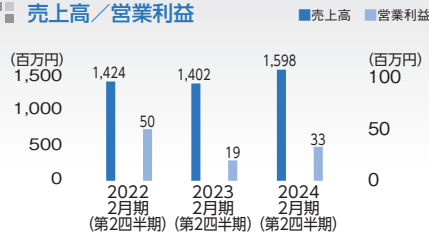
売上高 **15億98百万円**
(9.2%)

■ 医薬品卸事業 営業拠点マップ

※2023年8月末現在



■ 売上高／営業利益



TOPICS



西部沢井薬品株式会社との事業統合

当社連結子会社であります株式会社メディカルー光と西部沢井薬品株式会社およびその子会社であります株式会社沖縄アメリの医薬品・医薬部外品等の卸売事業を統合することに最終合意し、2023年9月1日を効力発生日とする事業譲渡契約および株式譲渡契約を締結いたしました。

1.統合の背景と目的

企業を取り巻く環境は、大きな転換点を迎えております。長年続いたデフレから一転して急激なインフレに直面すると同時に、円安の為替要因によるコストの上昇が物価を押し上げている状況にあります。医療用医薬品は公定価格が基本となっており、価格転化ができない中での物価高騰は大きな打撃を被ることになります。一方で医療や介護を取り巻く環境は、団塊の世代の方々が全て75歳以上となる2025年には、75歳以上の人口が全人口の約18%となり、2040年には65歳以上の人口が全人口の約35%となると推計されています。今後、国民にとって医療・介護は極めて重要となり、国民が安心できる持続可能なサービスの実現を目指さなければなりません。また社会保障においては給付と負担の在り方に加え、就業対策による担い手の拡大、施策なども見直しが必要と言われております。それらは企業自らが取り組むことでもあります。

西部沢井薬品株式会社と当社グループは、事業規模の拡大による効率化を図り、人材獲得は喫緊の課題と考え、事業統合を前提とした協議を重ね最終合意に至りました。

これにより当社グループは、1道2府20県の地域に拠点を拡大することになります。今後も「調剤薬局事業」「ヘルスケア事業」「医薬品卸事業」の3極体制の強みを活かし「良質な医療・介護サービスをより多くの人に提供する」ことを企業理念として、取り組んでまいります。

2.統合の形態

(1) 株式会社メディカルー光は、西部沢井薬品株式会社の事業を譲受けするとともに、西部沢井薬品株式会社の子会社である株式会社沖縄アメリの全株式を取得し、子会社化（当社の孫会社化）します。

(2) 株式会社メディカルー光は、西部沢井薬品株式会社の関連会社の位置付けにあります株式会社博愛中井調剤薬局の株式の一部を取得することにつき、基本合意をいたしました。今後は株式譲渡契約締結に向け協議を進めてまいります。

<西部沢井薬品株式会社の概要>

西部沢井薬品株式会社は、九州地区を中心に沢井製薬株式会社の代理店として、55年の歴史と約6,000軒の得意先を擁しております。

(1)名称	西部沢井薬品株式会社
(2)所在地	福岡県北九州市小倉南区石田南2丁目1-1
(3)事業内容	医薬品・医薬部外品等の卸売事業
(4)資本金	50百万円
(5)設立年月	1967年9月

<株式会社沖縄アメリの概要>

(1)名称	株式会社沖縄アメリ
(2)所在地	沖縄県浦添市伊祖2丁目25番13号
(3)事業内容	医薬品・医薬部外品等の卸売事業
(4)資本金	10百万円
(5)設立年月	2003年9月

<株式会社博愛中井調剤薬局の概要>

(1)名称	株式会社博愛中井調剤薬局
(2)所在地	福岡県北九州市小倉南区守恒2丁目1番26号
(3)事業内容	調剤薬局事業
(4)資本金	5百万円
(5)設立年月	1978年6月

連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期末 2023年8月31日現在	前期末 2023年2月28日現在
資産の部		
流動資産	13,982	13,239
現金及び預金	6,739	6,443
売掛金	5,438	5,009
商品	1,298	1,228
その他	505	559
固定資産	14,497	14,266
建物及び構築物	5,312	5,506
土地	3,762	3,762
のれん	1,198	1,296
投資その他の資産	3,585	3,199
その他	639	501
資産合計	28,480	27,505

科目	当第2四半期末 2023年8月31日現在	前期末 2023年2月28日現在
負債の部		
買掛金	3,715	3,393
短期借入金	190	170
1年以内返済予定長期借入金	2,539	2,694
長期借入金	6,072	6,062
その他の負債	2,872	2,576
負債合計	15,390	14,897
純資産の部		
株主資本	12,388	12,016
その他の包括利益累計額	118	32
非支配株主持分	583	558
純資産合計	13,090	12,607
負債・純資産合計	28,480	27,505

連結財務諸表

■ 四半期連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2023年3月1日から 2023年8月31日まで	前第2四半期 2022年3月1日から 2022年8月31日まで
売上高	17,450	16,978
売上原価	15,712	15,340
売上総利益	1,738	1,638
販売費及び一般管理費	1,135	1,173
営業利益	603	465
営業外収益	124	161
営業外費用	31	28
経常利益	696	598
特別利益	83	26
特別損失	4	0
税金等調整前四半期純利益	775	624
法人税、住民税及び事業税	321	209
法人税等調整額	△ 14	29
法人税等合計	306	238
四半期純利益	469	386
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	444	374

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2023年3月1日から 2023年8月31日まで	前第2四半期 2022年3月1日から 2022年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	847	496
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 338	△ 291
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 217	△ 1,163
現金及び現金同等物の増減額	292	△ 958
現金及び現金同等物の期首残高	6,253	7,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,545	6,830

◎ 営業活動の結果得られた資金は、847百万円(前年同期比351百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益775百万円、仕入債務の増加315百万円、減価償却費及びのれん償却額396百万円があったものの、売上債権の増加390百万円、法人税等の支払233百万円があったこと等によるものです。

◎ 投資活動の結果支出した資金は、338百万円(前年同期比46百万円の支出増加)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入422百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出405百万円、有形固定資産の取得による支出154百万円があったこと等によるものです。

◎ 財務活動の結果支出した資金は、217百万円(前年同期比946百万円の支出減少)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金125百万円の純減少、配当金の支払75百万円があったこと等によるものです。

会社の概要・株式情報

■ 会社概要 (2023年8月31日現在)

商号	株式会社メディカル光グループ
設立	1985年4月17日
本社所在地	三重県津市西丸之内36番25号 059 (226) 1193 (代表)
資本金	9億1,700万円
社員数	2,012名 (グループ総数)
事業内容	調剤薬局事業／ヘルスケア事業 医薬品卸事業／不動産事業／投資事業

■ 役員 (2023年8月31日現在)

代表取締役社長	南野 利久
代表取締役専務取締役	櫻井 利治
取締役	酒向 良弘
取締役	滝澤 多佳子 (社外)
取締役	堀野 桂子 (社外)
取締役	桑原 茂裕 (社外)
常勤監査役	福島 隆司
監査役	井元 哲夫 (社外)
監査役	古川 典明 (社外)
監査役	久木 邦彦 (社外)

■ 執行役員等 (2023年8月31日現在)

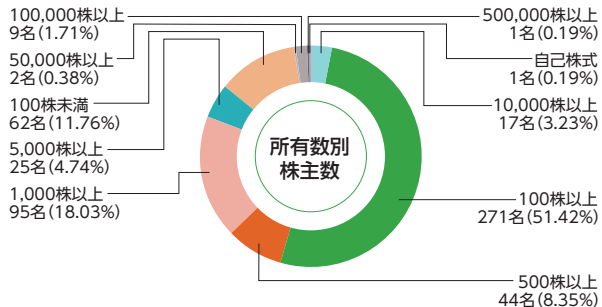
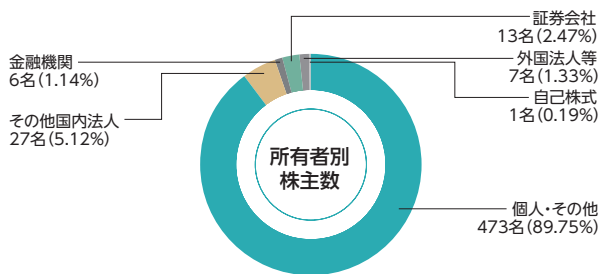
上席執行役員	遠山 邦彦
上席執行役員	橘 貴光
執行役員	前川 正

■ 株式の状況 (2023年8月31日現在)

1. 発行可能株式総数	6,000,000株
2. 発行済株式の総数	4,070,000株
3. 株主数	527名

■ 大株主 (2023年8月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
イオン株式会社	1,020,000	25.06
ハウス食品グループ本社株式会社	360,000	8.84
自社 (自己株式)	311,873	7.66
南野 利久	242,400	5.95
株式会社サウス	234,200	5.75
株式会社南野	234,200	5.75
東邦ホールディングス株式会社	203,000	4.98
メディカル光グループ従業員持株会	143,246	3.51
沢井製薬株式会社	140,000	3.43
アルフレッサ株式会社	120,000	2.94



会社の概要・株式情報

■ 連結グループ会社（2023年8月31日現在）

調剤薬局 事業	株式会社メディカルー光	三重県津市
	株式会社エファアー	埼玉県さいたま市
	株式会社ヘルシー薬局	三重県津市
ヘルスケア 事業	株式会社ハピネライフー光	三重県津市
	有限会社三重高齢者福祉会	三重県津市
	株式会社ハピネライフケア鳥取	鳥取県米子市
	ウェルフェアー株式会社	京都府京都市
	株式会社ライフケア	愛知県一宮市
その他事業	株式会社ヘルスケア・キャピタル	三重県津市

■ 株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日
定時株主総会	5月
基準日	2月末日
期末配当金受領株主確定日	2月末日
第2四半期配当金受領株主確定日	8月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711（通話料無料）
公告の方法	電子公告 〈 https://www.m-ikkou.co.jp/ 〉 ただし、電子公告を行うことができない場合、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
証券コード	3353

■ ホームページのご紹介 <https://www.m-ikkou.co.jp/ir/>

トップページ

<https://www.m-ikkou.co.jp>



ホームページでは、当社の事業内容、IR情報、最新ニュースなどを公開しています。

IRアンケート

<https://www.m-ikkou.co.jp/ir/enq.php>



皆様からのご意見を参考に、さらに役立つIR情報を発信していくためアンケートを実施しています。

IRメール配信サービス

<https://www.m-ikkou.co.jp/ir/mail.php>



IR情報をメールでお知らせするサービスです。（登録無料）

株式会社 **メディカルー光**グループ



この印刷物は、
植物油インキを
使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。